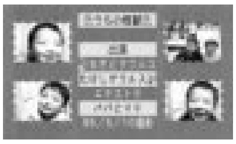
ラベルを作る

（ビデオ・オーディオ・名前・送り状・ファイル・フロッピー）

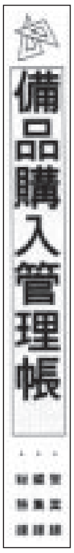
フォーマットを選んで作れるラベルの例（用途別ラベル）

本機では内蔵フォーマットを選んで、用途に応じたラベルを作ることができます。
（自分でフォーマットを決めて、オリジナルなラベルを作ることもできます。→149ページ）

ビデオラベル（カラー・単色・画像付き）



ファイルラベル（単色）



送付（送り状）ラベル（単色）

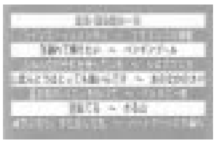


名前ラベル（カラー・単色・画像付き）



フロッピーラベル（カラー・単色・画像付き）





オーディオラベル（カラー・単色・画像付き）

- カラーのラベルを作るときは ………… 89ページ
- 単色のラベルを作るときは …………… 95ページ
- 画像付きのラベルを作るときは ……… 100ページ

からご覧ください。

どんなラベルが作れるのか、試してみましょう（デモ印刷）

本機で使えるいろいろな文字や書体で作ったラベルサンプルを印刷することができます。

1. テープカートリッジがセットされていることを確認します。
2. OFFを押して電源を切り、再びONを押して電源を入れます。
3. 印刷を押します。
4. 実行を押します。

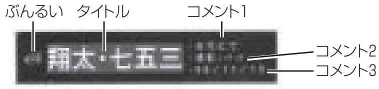
デモ印刷中に、途中で数秒印刷が止まることがありますが、故障ではありません。また、テープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

カラーラベルを作る

カラーのビデオ・オーディオ・名前・フロッピーラベルを作ってみましょう。

ここでは例として、VHS-Cビデオの背ラベルを作ります。

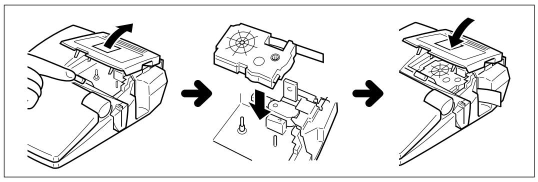
例



（18mm幅カラーテープを使用しています／VHS-C背／番号:3／デザイン配色:夏の山）

このフォーマットで作ります

1 スタート　カラーテープをセットします。



重要　**テープをセットするときは、電源を切ってください。**

つづく

かならずフォーマットに合った幅のテープをセットしてください

参照 フォーマット一覧→199ページ
テープカートリッジをセットする→10ページ

2 ONを押して、電源を入れます。

3 機能 カラー定型フォーマット（定型フォーマット）と押します。

「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは、下の欄外をご覧ください。

-カラー定型フォーマット-
用途別ラベル　オリジナルラベル
カレンダー　POPラベル
画像ラベル　ロゴコレクション

4 ⋀⋁＜＞を押して用途別ラベルにし、実行を押します。

-用途別ラベル-
作成　呼出し　削除

5 ＜＞を押して作成にし、実行を押します。

-用途別ラベル-
ビデオ　オーディオ
名前　フロッピー

6 ⋀⋁＜＞を押してビデオにし、実行を押します。

-ビデオ-
VHS表面（46mm幅）
VHS背（18mm幅）
VHS-C表面（46mm幅）
▼

「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは

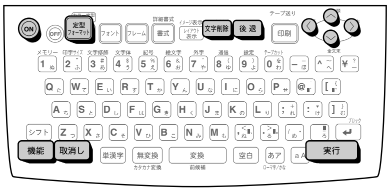
画面に入力中の文字があるときに表示されます。

- 文字を消してもいいときは…実行を押します
- 文字を消したくないときは…取消しを押します。とっておきたい文字は登録してください→171ページ

自由にフォーマットを決めて、オリジナルなラベルを作りたいときは

参照 →142ページ

このキーを使います

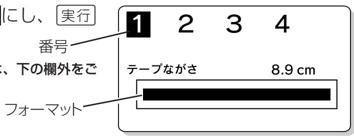


7 ⋀⋁を押してVHS-C背（18mm幅）にし、実行を押します。

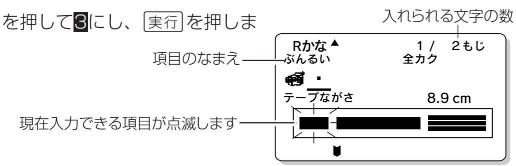
-VHS-C背-
無地／色柄
カラー飾り付
ビデオ画像付

8 ⋀⋁を押して無地／色柄にし、実行を押します。

カラーの飾り枠をつけたいときは、下の欄外をご覧ください。

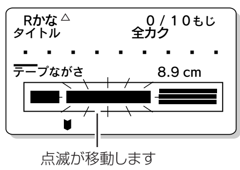


9 ＜＞を押して3にし、実行を押します。



10 画面の絵文字を確認して、実行を押します。

別の絵文字に変えたいとき、または絵文字の代わりに文字や記号を入れたいときは、下の欄外をご覧ください。



つづく

別の絵文字または文字や記号に変えたいときは

1 ＜文字削除または後退を押して絵文字を消します。
2 別の文字などを入れます。

参照 絵文字を入れる→62ページ、記号を入れる→56ページ

フォーマットによっては、絵文字の入っていないものもあります

カラーの飾り枠をつけたいときは

⋀⋁を押してカラー飾り付にします。

参照 カラー飾り→カラーカタログ裏面

基本編
ラベルを作る

11 タイトル「翔太・七五三」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、下の欄外をご覧ください。

Rかな▲ コメント1　1／18もじ 全カク
テープながさ　8.9 cm

12 コメント1「自宅にて」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、下の欄外をご覧ください。

Rかな▲ コメント2　1／18もじ 全カク
テープながさ　8.9 cm

13 コメント2「撮影：パパ」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、下の欄外をご覧ください。

Rかな▲ コメント3　1／18もじ 全カク
テープながさ　8.9 cm

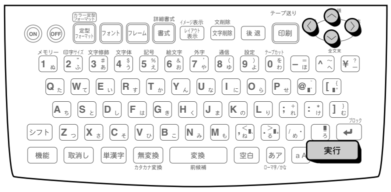
14 コメント3「99/11/15」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、下の欄外をご覧ください。

方向　縦書き
印刷する方向
テープながさ　8.9 cm

項目ごとに文字の形や大きさを変えたいときは
参照 文字の形を変える（書体）→161ページ
文字を目立たせる（文字体）→164ページ
文字の大きさを変える→158ページ

カラー飾りが表示されたときは
カラー飾りを選んで[実行]を押します。
参照 カラー飾り→カラーカタログ裏面
選び終わったら、19に進みます。

このキーを使います



15 ◁▷を押して「方向　横書き」にし、[実行]を押します。
・「カラー飾り」が表示されたときは、前ページの欄外をご覧ください。
・縦書きにしたいときは、下の欄外をご覧ください。

－無地/色柄－
無地（配色を選択）
色柄（模様を選択）

16 △▽を押して無地（配色を選択）にし、[実行]を押します。
配色については、下の欄外をご覧ください。

－配色－
ベーシック配色　デザイン配色
POP配色　注意・案内
背景色　ユーザー配色

17 △▽◁▷を押してデザイン配色にし、[実行]を押します。

デザイン配色　1
さくら　入学式
端午の節句　七夕
ひまわり　夏の山

18 △▽◁▷を押して夏の山にし、[実行]を押します。

印刷　登録　終了
テープながさ　8.9 cm

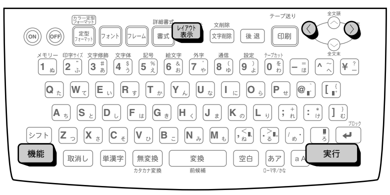
つづく

縦書きにしたいときは
◁▷を押して「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

配色とは
本機に内蔵されている配色のパターンには、そのイメージにちなんだ名前がつけられています。
参照 →カラーカタログ裏面

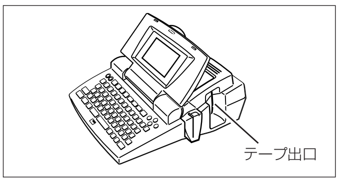
配色を決めたいときは
参照 ユーザー配色→166ページ

このキーを使います

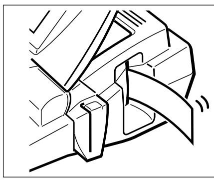


19 ◁▷を押して印刷にします。
印刷前にできあがりを確認したいときは、下の欄外をご覧ください。

20 テープ出口がものでふさがれていないことを確認し、[実行]を押します。
・印刷が始まります。
・テープのカットについては、下の欄外をご覧ください。



重要　印刷が終わりテープがカットされるまで、テープにさわらないでください。また、テープ収納部のカバーを開けないでください。



21 ◁▷を押して終了にし、[実行]を2回押します。
ゴール

Rかな▲ 43pt 全カク　0.0cm

印刷前にできあがりを確認したいときは
19で[機能][レイアウト表示]と押すと、画面で印刷結果を確認できます。
参照 →168ページ

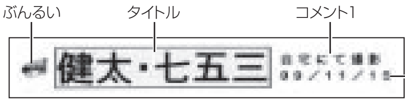
テープのカットについて
印刷中に、余分なテープが自動的にカットされます。
また、印刷が終わると自動的に最適な長さにカットされます。

単色ラベルを作る

単色のビデオ・オーディオ・名前・送り状・ファイル・フロッピーラベルを作る方法を説明します。

ここでは例として、8ミリビデオの背ラベルを作ります。

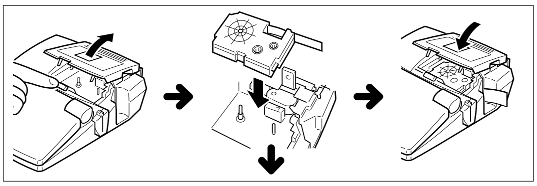
例



（12mm幅単色テープを使用しています／8ミリ背／番号:3）

このフォーマットで作ります

1 単色テープをセットします。
スタート



重要　テープをセットするときは、電源を切ってください。

つづく

かならずフォーマットに合った幅のテープをセットしてください
参照 フォーマット一覧→199ページ
テープカートリッジをセットする→10ページ

2 ⓄⓃを押して、電源を入れます。

-単色定型フォーマット-
用途別ラベル　オリジナルラベル
ナンバリング　カレンダー
バーコード　POPラベル

3 [定型フォーマット]を押します。
「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは、下の欄外をご覧ください。

4 △▽◁▷を押して用途別ラベルにし、[実行]を押します。

-用途別ラベル-
作成　呼出し　削除

5 ◁▷を押して作成にし、[実行]を押します。

-用途別ラベル-
ビデオ　オーディオ
名前　送付
ファイル

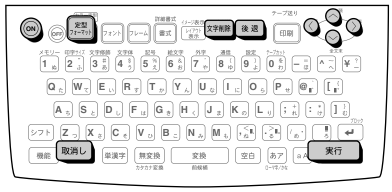
6 △▽◁▷を押してビデオにし、[実行]を押します。

-ビデオ-
VHS表面（46mm幅）
VHS背（18mm幅）
VHS-C表面（46mm幅）

「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは

画面に入力済みの文字があるときに表示されます。
- 文章を消してもいいときは…[実行]を押します
- 文章を消したくないときは…[取消し]を押します。とっておきたい文章は登録してください（→171ページ）

このキーを使います



7 △▽を押して8ミリ背（12mm幅）にし、[実行]を押します。

1　2　3　4
番号
テープながさ　9.4 cm
フォーマット

8 ◁▷を押して3にし、[実行]を押します。

入れられる文字の数
Rかな　1/ 2もじ
ぶんるい　全カク
項目のなまえ
テープながさ　9.4 cm
現在入力できる項目が点滅します

9 画面の絵文字を確認して、[実行]を押します。
別の絵文字に変えたいとき、または絵文字のかわりに文字や記号を入れたいときは、下の欄外をご覧ください。

Rかな　0/11もじ
タイトル　全カク
テープながさ　9.4 cm
点滅が移動します

つづく

フォーマットによっては、絵文字の入っていないものもあります

別の絵文字または文字や記号に変えたいときは

1 ◁[文字削除]または[後退]を押して絵文字を消します。
2 別の文字を選びます。
参照 絵文字を入れる→62ページ、記号を入れる→56ページ

10 タイトル「健太・七五三」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、92ページの欄外をご覧ください。

Rかな　0/18もじ
コメント1　全カク
テープながさ　9.4 cm

11 コメント1「自宅にて撮影」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、92ページの欄外をご覧ください。

Rかな　0/18もじ
コメント2　全カク
テープながさ　9.4 cm

12 コメント2「99/11/15」を入れて[実行]を押します。
文字の形や大きさを変えたいときは、92ページの欄外をご覧ください。

印刷する方向
方向　縦書き>
裏書き　しない
テープながさ　9.4 cm

13 ◁▷を押して「方向　横書き」にし、▽を押します。
- 縦書きにしたいときは、下の欄外をご覧ください。
- 「枠付　あり（またはなし）」と表示されたときは、下の欄外をご覧ください。

方向　横書き
裏書き　しない>
テープながさ　9.4 cm

縦書きにしたいときは

◁▷を押して「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

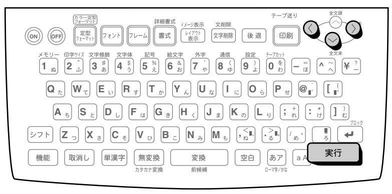
「枠付　あり（またはなし）」と表示されたときは

◁▷を押して、項目に枠をつけるかどうかを選びます。

「印刷枚数　1」枚と表示されたときは

枚数指定印刷をするにしているときは、連続で同じラベルを複数枚印刷できます。
1 ◁▷で印刷枚数を指定して▽を押します。
2 ◁▷で「テープのカット　する（またはしない）」を選んで[実行]を押します。
参照 枚数指定印刷→190ページ

このキーを使います

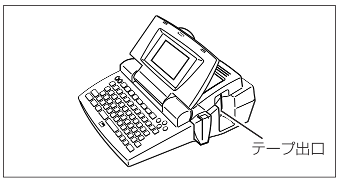


14 ◁▷を押して「裏書き　しない」にし、[実行]を押します。
裏書きしたいときは、下の欄外をご覧ください。

印刷　登録　終了
テープながさ　9.4 cm

15 ◁▷を押して印刷にします。
- 印刷前にできあがりを確認したいときは、94ページの欄外をご覧ください。
- 「印刷枚数　1枚」と表示されたときは、98ページの欄外をご覧ください。

16 テープ出口がものでふさがれていないことを確認して、[実行]を押します。
- 印刷が始まります。
- テープのカットについては、94ページの欄外をご覧ください。



重要 印刷が終わりテープがカットされるまで、テープにさわらないでください。また、テープ収納部のカバーを開けないでください。

17 ゴール ◁▷を押して終了にし、[実行]を2回押します。

かな
26pt　全カ　0 0cm

裏書きとは

次のようなときに使います。
- ハンカチなどの布製品にアイロンプリントするとき（別売の布転写テープカートリッジをセットしてください）
- ガラスなどの透明なものに裏から貼るとき（別売のテープ色が透明なテープカートリッジをセットしてください）

裏書きにしたいときは

◁▷を押して「裏書き　する」にします。
参照 裏書き→155ページ

画像付きラベルを作る

ビデオや別売のデジタルカメラの画像を取り込んで、画像付きのラベルを作ってみましょう。

画像付きラベルの種類

定型フォーマットを使って作ることのできる画像付きラベルには、次のものがあります。
ビデオ・オーディオ・名前・フロッピー・値札・卓上メニュー・カレンダーのカラーラベル及びビデオ画像ラベル

ビデオ・デジタルカメラと接続する

■ご注意

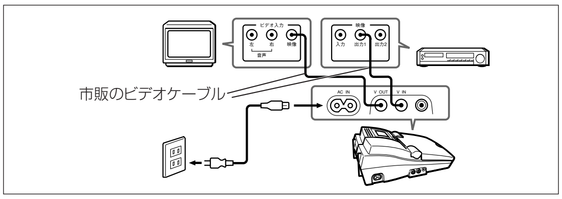
重要

●本機とビデオ・デジタルカメラなどの機器を接続するときは、次の点に注意してください。
- 本機、およびビデオ・デジタルカメラなどの電源を切ってから接続してください。
- ビデオケーブルやデジタルカメラとの接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。
- 本機にケーブルを接続するときは、V-IN端子とV-OUT端子を間違えないようにしてください。
- 画像取り込みをしていないときは、ケーブルやコードは本機からはずしてください。

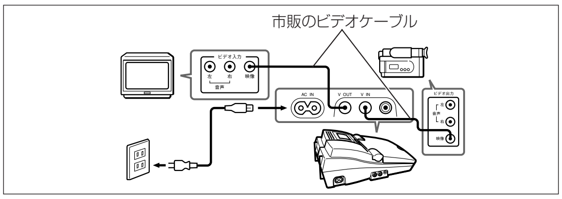
●色のコントラストや輪郭がはっきりと写っている画像をお使いください。
●元のビデオ画像が高品位なものほど、美しく印刷することができます。
●次のような画像は、きれいに印刷できないことがあります。
- 被写体と背景が同系色の画像・全体的に暗い画像・被写体が暗く写っている画像・被写体を遠くから写した画像・ブレのある画像(ホームビデオで写したものは特にご注意ください)

●ご使用になられているビデオデッキのメーカーや機種によって、「モニター(テレビ画面など)に写っている画像」と「ビデオ端子から取り込んで印刷したもの」の色味が異なることがあります。
●あなたが撮影、制作した映像以外(テレビ放送を録画したものや市販のビデオソフトなど)からの画像を使ったラベルは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

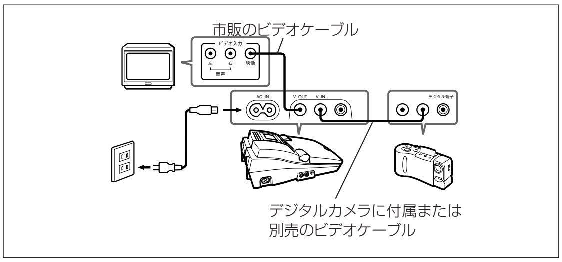
■ビデオデッキと接続する



■ビデオカメラと接続する



■デジタルカメラと接続する



画像付きラベルを作る

ここでは例として、VHS-Cビデオの背ラベルを作ります。

例

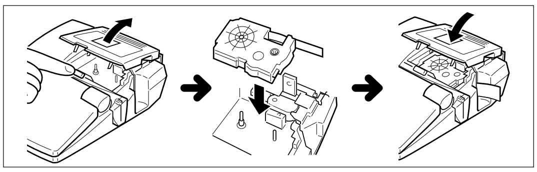


(18mm幅カラーテープを使用しています/VHS-C背/画像付/番号:2/背景色:赤/切抜き:)

このフォーマットで作ります

1 スタート 本機とビデオまたはデジタルカメラの電源が切れていることを確認してから、接続します。
ビデオ・デジタルカメラと接続する→100ページ

2 カラーテープをセットします。



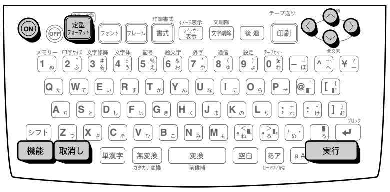
重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

3 使いたい画像を準備します。
- ビデオのときは ………… 再生もしくは、使いたい画像の4～5秒前で一時停止させておきます。
- デジタルカメラのときは … 使いたい画像をデジタルカメラ上に表示させます。

使用できるデジタルカメラ

QV-10/10A/11/30/70/100/200/300/700/770/5000SX/7000SX
(1999年2月現在)

このキーを使います



4 ⓞⓝを押して、電源を入れます。

5 [機能] [定型フォーマット]と押します。
「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは、下の欄外をご覧ください。

-カラー定型フォーマット-
用途別ラベル オリジナルラベル
カレンダー POPラベル
画像ラベル ロゴコレクション

6 ⋀⋁＜＞を押して用途別ラベルにし、[実行]を押します。

-用途別ラベル-
作成 呼出し 削除

7 ＜＞を押して作成にし、[実行]を押します。

-用途別ラベル-
ビデオ オーディオ
名前 フロッピー

8 ⋀⋁＜＞を押してビデオにし、[実行]を押します。

-ビデオ-
VHS表面(46mm幅)
VHS背(18mm幅)
VHS-C表面(46mm幅)

つづく

かならずフォーマットに合った幅のテープをセットしてください

参照 フォーマット一覧→199ページ
テープカートリッジをセットする→10ページ

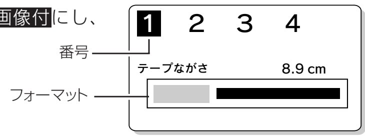
「入力中の文章が失われますがよろしいですか」と表示されたときは

画面に入力済みの文字があるとき表示されます
- 文章を消してもいいときは…[実行]を押します
- 文章を消したくないときは…[取消し]を押します。とっておきたい文章は登録してください→171ページ

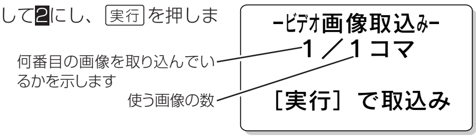
9 ⋀⋁を押してVHS-C背(18mm幅)にし、実行を押します。



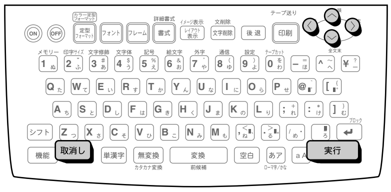
10 ⋀⋁を押してビデオ画像付にし、実行を押します。



11 ＜＞を押して2にし、実行を押します。



このキーを使います



12 (ビデオの操作)

一時停止を解除し、使いたい画像の少し前(0.2〜0.3秒前)で実行を押します。

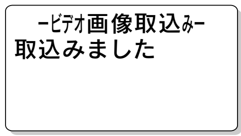
(デジタルカメラの操作)

実行を押します。

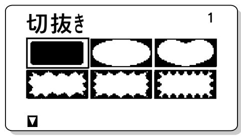
4コマの画像を取り込むときは、下の欄外をご覧ください。
取り込んだ画像が画面に表示されます。

13 画像を確認して実行を押します。

画像を取り込み直したいときは、下の欄外をご覧ください。



14 実行を押します。



15 ⋀⋁＜＞を押して(ハート)にし、実行を押します。

切り抜かれた画像が画面に表示されます。

つづく

4コマの画像を取り込むときは

コマ数分12を繰り返します。

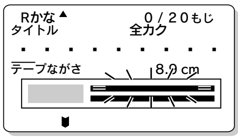
ビデオの画像を使うとき

一時停止中の画像を使うと、ノイズが入ってきれいに印刷できないことがあります。

画像を取り込み直すときは

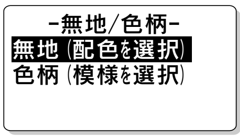
取消しを押します。「取込み直しますか？」と表示されたら実行を押し、12に戻って取り込み直します。
カラー定型フォーマットを終了すると、取り込んだ画像は消えます。

16 画像を確認して実行を押します。



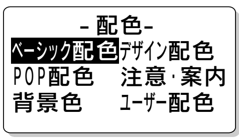
17 画像以外の項目を入れ、印刷方向を選び、実行を押します。

→92ページ11、14、15

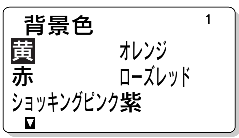


18 ⋀⋁を押して無地(配色を選択)にし、実行を押します。

配色については、93ページの欄外をご覧ください。

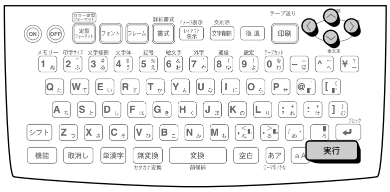


19 ⋀⋁＜＞を押して背景色にし、実行を押します。

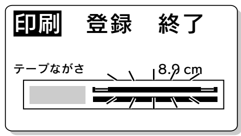


選んだフォーマットによっては、印刷方向(縦書き／横書き)が選べない場合があります

このキーを使います



20 ⋀⋁＜＞を押して赤にし、実行を押します。



21 ゴール ラベルを印刷します。

→94ページ19〜21



ラベルを貼る

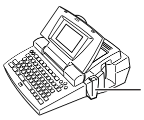
できあがったラベルを貼るとき、内蔵または付属のピーラーを使うとかんたんに裏紙をはがすことができます。

裏紙をかんたんにはがす（ピーラーの使いかた）

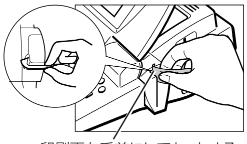
ラベルの裏紙をはがすとき、ピーラーを使うとかんたんにはがすことができます。ピーラーには本機についているものと、付属品の2種類があります。

■本体のピーラーを使う

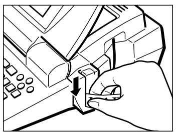
1 スタート ピーラーにラベルをセットします。



ラベルの先端が約2mm曲がるように、ピーラーの奥までセットします。



2 ラベルを垂直に引き下ろします。



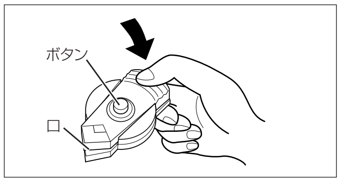
重要 無理に強く引き下ろすと、ラベルが折れ曲がるおそれがありますのでご注意ください。

3 ゴール 裏紙がはがれてくるまで、1～2を数回繰り返します。

カットされたラベルは、必要に応じてハサミなどで好きな大きさ・形にしましょう

■付属のかんたんピーラーを使う

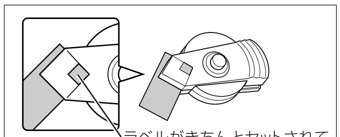
1 スタート ピーラーの口を開きます。



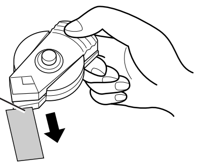
2 ラベルの印刷してある面を下にして、セットします。

3 ピーラーの口を閉じます。

4 ボタンを数回押します。



5 ゴール ピーラーの口を開いて、ラベルを取り出します。



ラベルを貼るときの注意

- ●次のようなところには、ラベルを貼りにくいことがあります。
  - 表面がざらざらしているところ
  - 表面に水や油・ほこりなどがついているところ
  - 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）
- ●次のようなところには、ラベルを貼らないでください。
  - 直射日光や雨があたるところ
  - 他人の家や塀
  - 駅や公園など公共の場所
  - 人や動物の体
  - 電柱など
- ●一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります

テープの種類によっては、ピーラーを使っても裏紙がはがれにくいことがあります

このときは、ラベルの角を折り曲げて、裏紙をはがしてください。

Memo

応　用　編

基本の操作をマスターしている方のために、バリエーション豊かなラベルとその作り方を紹介しています。
文字の入れかたや画面の見かたなど操作がわからなくなったら23ページの「基本編」に戻ってください。



内蔵のフォーマットを使っていろいろなラベル作りに挑戦してみましょう。

ここで作ることのできるラベル

値札・メニューラベル、カレンダーラベル、通し番号付きラベル、拡大印刷ロゴコレクション、バーコードラベル、スタンプ用ラベル、型抜きラベル、ファンシーラベル、ビデオ画像ラベル、オリジナルラベル

単色ラベルのみ作れます。内蔵のフォーマットを使わずに、自由にレイアウトや文字の大きさ、飾りを決めてラベルを作ってみましょう。

別売りのカラーグラフ関数電卓、パソコンまたはデジタルカメラとネームランドをつないでデータを受け取り、ラベルにする方法について説明します。

いろいろなラベルを作る

値札・メニューラベルを作る(POPラベル)

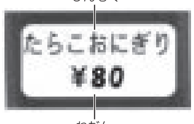
商品の値札やメニューラベルを作ることができます。
カラー・単色・画像付きPOPラベルを作ることができます。

- ●カラーPOPラベルを作る
- ●単色POPラベルを作る→115ページ
- ●画像付きPOPラベルを作る→117ページ

カラーPOPラベルを作る

ここでは例として、次のような値札ラベルを作ります。

例



(46mm幅カラーテープ使用/値札(46,36mm幅)/カラーPOP飾り付/番号：大2/カラーPOP飾り：▭/配色：POP赤+白)

このフォーマットで作ります

重要 **テープをセットするときは、電源を切ってください。**

1 カラーテープをセットします。
　テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [機能][定型フォーマット](カラー定型フォーマット)と押します。

4 ⋀⋁＜＞を使い**POPラベル**にして[実行]

5 ＜＞を使い**作成**にして[実行]

6 ⋀⋁を使い**値札(46,36mm幅)**にして[実行]

7 ⋀⋁＜＞を使い**POP飾り付**にして[実行]

8 ⋀⋁＜＞を使い**大2**にして[実行]

9 「たらこおにぎり」と入力・確定して[実行]

10 「80」と入力・確定して[実行]

11 ＜＞を使い「方向　**横書き**」にして[実行]

12 ⋀⋁＜＞を使い▬にして[実行]
　カラーPOP飾り→カラーカタログ裏面

13 ⋀⋁を使い**POP赤+白**にして[実行]
　POP配色→カラーカタログ裏面

14 ＜＞を押して**印刷**にします。

15 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要 **"印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。**
- **テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまでテープにさわらないでください。**
- **テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。**

16 印刷が終わったら、＜＞を使い**終了**にして[実行]を2回

カラーPOP飾りについて

6で「値札(18mm幅)」または「卓上(46,36mm)」を選んだときは、「POP飾り付」は表示されません。

無地/色柄のラベルを作るときは

7で「無地/色柄」を選んだときは、12〜13で配色または模様を指定します。
参照 配色→カラーカタログ裏面
　模様→カラーカタログ裏面

カラー飾り付きのラベルを作るときは

7で「カラー飾り付」を選んだときは、12〜13でカラー飾り名を選びます(色は指定できません)。
参照 カラー飾り→カラーカタログ裏面

文字の形や大きさを変えたいときは

9〜10で文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ
　文字のサイズを変える→158ページ

「¥」などの代わりに別の文字を入れたいときは

あらかじめ入っている文字を消して、別の文字を入れたいときは、9、10で＜＞[文字削除]、または[後退]を使って消し、別の文字を入れ直します。

縦書きにするときは

11で、＜＞を使って「方向　**縦書き**」にします。
参照 縦書き→152ページ

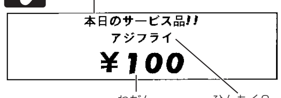
印刷前に印刷イメージを確認したいときは

14で、[機能][レイアウト表示](イメージ表示)と押します。
参照 イメージ表示→168ページ

単色POPラベルを作る

ここでは例として、次のような値札ラベルを作ります。

例



(18mm幅単色テープ使用/値札(24〜9mm幅)/番号：大3)

このフォーマットで作ります

重要 **テープをセットするときは、電源を切ってください。**

1 単色テープをセットします。
　テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

4 ⋀⋁＜＞を使い**POPラベル**にして[実行]

5 ⋀⋁＜＞を使い作成にして実行

6 ⋀⋁を使い値札(24〜9mm幅)にして実行

7 ⋀⋁＜＞を使い大3にして実行

8 「本日のサービス品！！」と入力・確定して実行

9 「アジフライ」と入力・確定して実行

10 「100」と入力・確定して実行
「枠付　あり(またはなし)」と表示されたときは
・枠をつけるとき…＜＞を使いありにして実行
・枠をつけないとき…＜＞使いなしにして実行

11 ＜＞を使い「方向　横書き」にして⋁

12 ＜＞を使い「裏書き　しない」にして実行

13 ＜＞を使い印刷にします。

14 テープ出口がふさがれていないことを確認して実行

> 重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
> ・テープにはさわらないでください。
> ・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

15 印刷が終わったら、＜＞を使い終了にして実行を2回

6で「バーコード付ラベル」を選んだときは

① 6の後に、＜＞を使ってバーコードの種類を選びます。
② 10の後にバーコードデータを入力します。
参照 →132ページ
③ 11、12の操作はありません。

文字の形や大きさを変えたいときは

8〜10で文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ
文字のサイズを変える→158ページ

「¥」などの代わりに別の文字を入れたいときは

あらかじめ入っている文字を消して別の文字を入れたいときは、8〜10で＜＞ 文字削除 、または 後退 を使って消して別の文字を入れ直します。

縦書きにするときは

11で、＜＞を使い「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

裏書きにするときは

12で、＜＞を使い「裏書き　する」にします。
参照 裏書き→155ページ

印刷前に印刷結果を確認したいときは

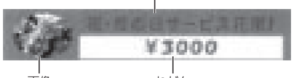
13で、機能 イメージ表示(レイアウト表示) と押します。
参照 イメージ表示→168ページ

応用編　いろいろなラベルを作る

カラー 画像付きPOPラベルを作る

ここでは例として、次のような画像付きの値札ラベルを作ります。

例



(18mm幅カラーテープ使用/値札(18mm幅)/ビデオ画像付/切抜き◯/番号：2/デザイン配色：あたたかい)

このフォーマットで作ります

> 重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 ビデオまたはデジタルカメラの準備をします。
ビデオ・デジタルカメラの準備 →100ページ

2 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

3 ◎を押して電源を入れます。

4 機能 定型フォーマット(カラー定型フォーマット) と押します。

5 ⋀⋁＜＞を使いPOPラベルにして実行

6 ＜＞を使い作成にして実行

7 ⋀⋁を使い値札(18mm幅)にして実行

8 ⋀⋁を使いビデオ画像付にして実行

9 ＜＞を使い2にして実行

10 画像を取り込みます。
画像の取り込み・切り抜き →105ページ12〜16

11 「祝・母の日サービス花束！」と入力・確定して実行

12 「3000」と入力・確定して実行

13 ＜＞を使い「方向　横書き」にして実行

14 ⋀⋁を使い無地(配色を選択)にして実行
配色→カラーカタログ裏面

15 ⋀⋁＜＞を使いデザイン配色にして実行

16 ⋀⋁＜＞を使いあたたかいにして実行

応用編　いろいろなラベルを作る

17 ＜＞を使い印刷にします。

18 テープ出口がふさがれていないことを確認して実行

> 重要 "印刷中"の表示が消えるまで、次のことを守ってください。
> ・テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
> ・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

19 印刷が終わったら、＜＞を使い終了にして実行を2回

文字の形や大きさを変えたいときは

11〜12で、文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体を変える→164ページ、文字のサイズを変える→158ページ

「¥」などの代わりに別の文字を入れたいときは

あらかじめ入っている文字を消して、別の文字を入れたいときは、11、12で＜＞ 文字削除 、または 後退 を使って消し、別の文字を入れ直します。

縦書きにするときは

13で、＜＞を使い「方向　縦書き」にします。
また、縦書きを選ぶと画像のサイズは小さくなります。
参照 縦書き→152ページ

次のようなフォーマットでは、縦書きは選べません

大きな画像付き、4コマの画像付き

印刷前に印刷結果を確認したいときは

17で、機能 イメージ表示(レイアウト表示) を押します。
参照 イメージ表示→168ページ

カレンダーラベルを作る

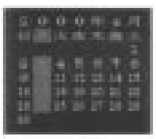
1月分のカレンダーラベルを作ることができます。範囲は1900年1月〜2100年12月までです。カラー・単色・画像付きを作ることができます。

- ●カラーカレンダーラベルを作る
- ●単色カレンダーラベルを作る→120ページ
- ●画像付きカレンダーラベルを作る→121ページ

カラー カラーカレンダーラベルを作る

ここでは例として、「2000年4月」のカレンダーラベルを作ります。

例



(36mm幅カラーテープ使用/休日：月曜日/無地/背景色：赤)

> 重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

応用編　いろいろなラベルを作る

3 機能 定型フォーマット(カラー定型フォーマット) と押します。

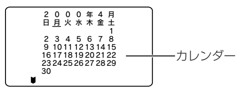
4 ⋀⋁＜＞を使いカレンダーにして実行

5 ⋀⋁を使い無地/色柄にして実行

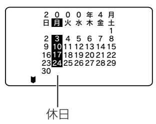
6 ⋀⋁を使い2000にして＞

7 ⋀⋁を使い4にして実行

8 ⋀⋁＜＞を使い「月」にカーソルを合わせます。



9 休日を指定します。↵を押します。



10 実行を押します。

11 ⋀⋁を使い無地(配色を選択)にして実行
配色→カラーカタログ裏面

12 ⋀⋁＜＞を使い背景色にして実行

13 ⋀⋁＜＞を使い赤にして実行

14 ＜＞を使い印刷にします。

15 テープ出口がふさがれていないことを確認して実行

> 重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
> ・テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまでテープにさわらないでください。
> ・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

16 印刷が終わったら、＜＞を使い終了にして実行を2回

カラー飾り付きのラベルを作るときは

5で「カラー飾り付」を選んだときは、11でカラー飾り名を選びます(色は指定できません)。
参照 カラー飾り→カラーカタログ裏面

年・月を直接入れるときは

6、7で、入れたい数字キーを押します。

祝日を入れたいときは

カレンダーが表示されているとき、⋀⋁＜＞を使い祝日の日付にカーソルを合わせて↵を押します(指定した休日・祝日を取り消したいときは、再度↵を押します)。

応用編　いろいろなラベルを作る

文字の書体を変えたいときは

①カレンダーが表示されているとき、[フォント]を押します。
②◁▷を使い、書体を選んで[実行]
・欧文フォント、及び文字の太さは選べません。
・36mm幅カラーテープで「カラー飾り付」のカレンダーラベルを印刷した場合は、書体を変えても同じ印刷になります。
参照 書体→161ページ

月曜日を週の初めにしたいときは

①カレンダーが表示されているとき、[書式]を押します。
②◁▷を使い月曜先頭にして[実行]
元に戻すときは日曜先頭にします。

色柄のラベルを作るときは

11で「色柄(模様を選択)」を選び、12〜13で模様を選びます。
参照 模様→カラーカタログ裏面

単色カレンダーラベルを作る

ここでは例として、「2000年4月」のカレンダーラベルを作ります。

例



(18mm幅単色テープ使用/休日：月曜日)

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

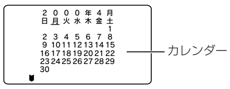
3 [定型フォーマット]を押します。

4 △▽◁▷を使いカレンダーにして[実行]

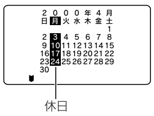
5 △▽を使い2000にして▷

6 △▽を使い4にして[実行]

7 △▽◁▷を使い「月」にカーソルを合わせます。



8 休日を押します。[↵]を押します。



9 [実行]を押します。

10 ◁▷を使い印刷にします。

11 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
・テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

12 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

年・月を直接入れるときは

5、6で、入れたい数字キーを押します。

祝日を入れたいときは

カレンダーが表示されているとき△▽◁▷を使い祝日の日付にカーソルを合わせて[↵]を押します(指定した祝日、休日を取り消したいときは、再度[↵]を押します)。

文字の書体を変えたいときは

18、24mm幅単色テープを使っているときは変えられません。
①カレンダーが表示されているとき[フォント]を押します。
②◁▷を使い、書体を選んで[実行]
欧文フォント、及び文字の太さは選べません。
参照 書体→161ページ

書式を変えたいときは

①カレンダーが表示されているとき[書式]を押します。
②◁▷を使い全文書式にして[実行]
③◁▷を使い「裏書き しない(またはする)」にして▽
④◁▷を使い「余白 大(または中 小 送り無)」にして[実行]
参照 書式設定→155ページ

月曜日を週の初めにしたいときは

①カレンダーが表示されているとき[書式]を押します。
②◁▷を使い曜日切換にして[実行]
③◁▷を使い月曜先頭にして[実行]
元に戻すときは日曜先頭にします。

画像付きカレンダーラベルを作る

画像の置きかたは、次の中から選ぶことができます。

左に1コマ



右に1コマ



4コマ



ここでは例として、「2000年4月」のカレンダーラベルを作ります。

例



(36mm幅カラーテープ使用/左に1コマ/休日：月曜日/切抜き：◯/背景色：オレンジ)

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 ビデオまたはデジタルカメラの準備をします。
ビデオ・デジタルカメラの準備 →100ページ

2 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

3 ◎を押して電源を入れます。

4 [機能] [カラー定型フォーマット]と押します。

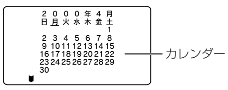
5 △▽◁▷を使いカレンダーにして[実行]

6 △▽を使いビデオ画像付にして[実行]

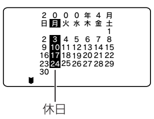
7 △▽を使い2000にして▷

8 △▽を使い4にして[実行]

9 △▽◁▷を使い「月」にカーソルを合わせます。



10 休日を指定します。[↵]を押します。



11 [実行]を押します。

12 △▽◁▷を使い左に1コマにして[実行]

13 画像を取り込みます。
画像の取り込み・切り抜き →105ページ12〜16

14 △▽を使い無地(配色を選択)にして[実行]
配色→カラーカタログ裏面

15 △▽◁▷を使い背景色にして[実行]

16 △▽◁▷を使いオレンジにして[実行]

17 ◁▷を使い印刷にします。

18 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
・テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまでテープにさわらないでください。
・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

19 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

年・月を直接入れるときは

7、8で、入れたい数字キーを押します。

祝日を入れたいときは

カレンダーが表示されているとき△▽◁▷を使い祝日の日付にカーソルを合わせて[↵]を押します(指定した休日・祝日を取り消したいときは再度[↵]を押します)。

文字の書体を変えたいときは

①カレンダーが表示されているとき[フォント]を押します。
②◁▷を使い、書体を選んで[実行]
・欧文フォント、及び文字の太さは選べません。
参照 書体→161ページ

月曜日を週の初めにしたいときは

①カレンダーが表示されているとき[書式]を押します。
②◁▷を使い月曜先頭にして[実行]

色柄のラベルを作るときは

14で、「色柄(模様を選択)」を選び、15〜16で模様を選びます。
参照 模様→カラーカタログ裏面

通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング印刷)

通し番号の入ったラベルを指定枚数(最大100枚)連続で印刷することができます。
ここでは例として、次のようなナンバリングラベルを作ります。

例

かいしナンバー

備品No.1(管理課)

コメント1　コメント2

(18mm幅単色テープ使用/番号：4)

このフォーマットで作ります

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

4 △▽◁▷を使いナンバリングにして[実行]

5 ◁▷を使い作成にして[実行]

6 △▽◁▷を使い4にして[実行]

7 「備品」と入力・確定して[実行]

8 通し番号の最初の数字を入力・確定して[実行]
- 「1」が設定されています。
- 5桁まで入力できます。
- 例えば最初の数字を「1」とした場合は、以降「2」「3」…と続きます。
「50」とした場合は、以降「51」「52」…と続きます。

9 「(管理課)」と入力・確定して[実行]

10 ⋀⋁＜＞を使いNo. 1にして[実行]

11 ＜＞を使い「方向　横書き」にして⋁

12 ＜＞を使い「裏書き　しない」にして[実行]

13 ＜＞を使い「余白　小」にして[実行]

14 ＜＞を使い印刷にして[実行]

15 ＜＞を使い、印刷枚数を指定して⋁

16 ＜＞を使いするにして[実行]
「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは、125ページのコラムをご覧ください。

17 開始ナンバーと終了ナンバーを確認します。

18 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

> 重要
> ●"印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
> - テープにはさわらないでください。
> - テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。
>
> ●テープ出口のまわりにカットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさぐと、テープ詰まりや故障の原因になります。
> ●枚数指定印刷をするに設定した場合は、印刷の途中でテープが終了しないよう残量に余裕のあるテープをお使いください。印刷の途中でテープが終了してしまった場合は、[取消し]を押して印刷を終わらせてください。
> 参照 枚数指定印刷→190ページ

19 印刷が終わったら、[実行]を何回か押して14に進みます。

20 ＜＞を使い終了にして[実行]を2回

文字の形や大きさを変えたいときは

7～9で文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ、文字のサイズを変える→158ページ

縦書きにするときは

11で、＜＞を使い「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

裏書きにするときは

12で、＜＞を使い「裏書き　する」にします。
参照 裏書き→155ページ

印刷前に印刷結果を確認したいときは

14で、[機能][レイアウト表示(イメージ表示)]と押します。
参照 イメージ表示→168ページ

印刷枚数を直接入れるときは

15で、入れたい数字キーを押します。
- 0は指定できません。
- 1～9枚を指定するときは、「01」～「09」と入力します。

テープを1枚ずつカットしないときは

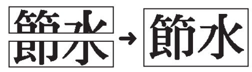
16で、＜＞を使いしないにします。

「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは

「テープのカット　する」にしても、テープの長さが「余白中のとき、約31mm以下」、「余白小のとき、約24mm以下」の場合は、「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されます。
自動的にテープカットをしなくてもいい場合は、[実行]を押して17に進み、印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
自動的にテープカットを行いながら印刷をする場合は、[取消し]を何回か押して余白を選ぶ画面に戻り、余白を大きく(小➜中または中➜大)指定し直してください。

大きなラベルを作る(拡大印刷)

文字を何枚かのテープに分けて印刷し、貼り合わせて最大184mm幅の大きなラベルを作ることができます。



文字を2枚のテープに分けて印刷する(2段)　2枚を並べて貼ると、1枚の大きなラベルになる

ここでは例として、次のようなラベルを作ります。

例



(36mm幅単色テープ使用/2段)

> 重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ⓞを押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

4 ⋀⋁＜＞を使い拡大にして[実行]

5 「禁煙」と入力・確定して[実行]

6 ＜＞を使い「方向　横書き」にして⋁

7 ＜＞を使い「裏書き　しない」にして[実行]

8 ＜＞を使い2段にして[実行]
→段数と文字の大きさ

9 ＜＞を使い印刷にして[実行]

10 ＜＞を使い「印刷　全部」にして⋁

11 ＜＞を使い「テープのカット　する」にして[実行]

12 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

> 重要
> ●"印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
> - テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
> - テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。
>
> ●テープの出口のまわりにカットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさぐと、テープ詰まりや故障の原因になります。

段数と文字の大きさ

テープ幅	文字の大きさ		
	2段	3段	4段
36mm	72mm	108mm	144mm
46mm	90mm	135mm	180mm*

＊：文字数の多い大きなラベルを印刷する場合は、次のことにご注意ください。
- 1本のテープですべての段を印刷できない場合があります。余裕のあるテープを使用し、残量を確認しながら1段ずつ印刷することをおすすめします。
- 印刷の途中でテープが終了してしまった場合は、[取消し]を押して印刷を終了し、テープを取り換えて再度操作を行って下さい(入力確定した文章は、保存されています)。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、幅広テープを使って、連続した印刷を行うと、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため"印刷準備中"の表示になって、印刷を一時停止することがあります。
プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- "印刷準備中"の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

前回拡大印刷を行った文字があるときは

- 4の後、前回入力された文字が表示されます。別の文字を使うときは、前回の文字を消して再入力して下さい。

文字の形や大きさを変えたいときは

- 5で文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ、文字のサイズを変える→158ページ
- 文字体を指定すると、印刷が遅くなります。
- 文字サイズを指定すると、倍率のうち「全角」「3/4倍」「半角」を指定することができます(「下付」「上付」「1.5倍」「倍角」の指定はできません)。また、ポイントは変更できません。

縦書きにするときは

6で、＜＞を使い「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

裏書きにするときは

7で、＜＞を使い「裏書き　する」にします。
参照 裏書き→155ページ

特定の段だけを印刷したいときは

10で、＜＞を使い、印刷したい段を選びます。

テープを1枚ずつカットしないときは

11で、＜＞を使い「テープのカット　しない」にします。

絵文字・外字を拡大する

他の文字に較べて、外形が多少ギザギザになります。

いろいろなデザインラベルを作る(ロゴコレクション)

本機には「重要」「新発売」「大売出し」などの、すてきなデザインラベルが内蔵されています(ロゴコレクション)。印刷するだけで、オフィスやお店ですぐにお使いいただけます。

カラーまたは単色が選べます。
●カラーのロゴコレクションラベルを印刷する
●単色のロゴコレクションラベルを印刷する
→128ページ

カラーのロゴコレクションラベルを印刷する

ここでは例として、次のようなロゴコレクションを作ります。

例



(36mm幅カラーテープ使用/特価品/無地/POP配色：POP青+白)

> 重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ⓞを押して電源を入れます。

3 [機能][定型フォーマット(カラー定型フォーマット)]と押します。

4 △▽◁▷を使いロゴコレクションにして[実行]

5 △▽◁▷を使い特価品にして[実行]
ロゴコレクション一覧→198ページ

6 △▽を使い無地(配色を選択)にして[実行]
配色→カラーカタログ裏面

7 △▽◁▷を使いPOP配色にして[実行]

8 △▽を使いPOP青＋白にして[実行]

9 ◁▷を使い印刷にします。

10 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]
18mm幅カラーテープに印刷した場合は2枚分印刷されます。はさみなどで切ってご使用ください。

重要 "印刷中"の表示が消えるまで、次のことを守ってください。
- テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

11 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

色柄のラベルを作るときは

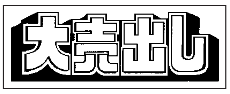
6で「色柄(模様を選択)」を選び、7〜8で模様を選びます。
参照 模様→カラーカタログ裏面

ロゴコレクションの配色について

カラーロゴコレクションは、2色で印刷されます。このため、配色の指定によっては、同じ色で印刷される場合があります(例：「POP赤＋白」「POP赤＋黄」)。また、配色イメージどおりに印刷されない場合があります(例：「フランス」を指定すると、青と白の2色のみで印刷され、赤は入りません)。

単色 単色のロゴコレクションラベルを印刷する

通常サイズの単色ロゴコレクション、また最大184mmの大きなラベルを作ることもできます。ここでは例として、次のようなロゴコレクションを印刷します。

例


(36mm幅単色テープ使用/大売出し/通常1段)

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]と押します。

4 △▽◁▷を使いロゴコレクションにして[実行]

5 △▽◁▷を使い大売出しにして[実行]

6 ◁▷を使い「裏書き　しない」にして[実行]

7 △▽◁▷を使い通常1段にして[実行]

8 ◁▷を使い印刷にして[実行]

9 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要
● "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
- テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。
● テープ出口のまわりにカットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさぐと、テープ詰まりや故障の原因になります。

10 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

段数とラベルの大きさ

テープ幅	ラベルの大きさ			
	通常1段	拡大2段	拡大3段	拡大4段
18mm	18mm	−	−	−
24mm	24mm	−	−	−
36mm	36mm	72mm	108mm	144mm
46mm	46mm	92mm	138mm	184mm

裏書きにするときは

6で、◁▷を使い「裏書き　する」にします。

大きなサイズのラベルを作るときは

何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、最大184mmの大きなロゴコレクションを作ることができます(36/46mm幅の単色テープのみ使用できます)。
① 7で、△▽◁▷を使い拡大ラベルを選びます。
② 8の後に、◁▷を使い、印刷する段を選んで▽
③ ◁▷を使い、「テープカット　する」(または しない)」を選んで[実行]
大きなロゴコレクションを印刷すると、イラストや文字の外形が多少ギザギザになることがあります。

連続で同じラベルを複数枚印刷するときは

枚数指定印刷をするに設定しているときに、7で「通常1段」を選ぶと、連続で複数枚のラベルを印刷することができます。
枚数指定印刷→190ページ

単色 スタンプ用ラベルを作る

スタンプ用テープカートリッジに印刷したラベルを、別売のスタンプホルダーを使ってオリジナルスタンプにすることができます。
スタンプ用テープに印刷する前に、通常のテープに試し印刷してみることをおすすめします。
- ●試し印刷をする
- ●スタンプ用テープに印刷する→131ページ

重要 スタンプを作るには、別売のスタンプホルダーが必要です。スタンプホルダーの使いかたについては、スタンプホルダーの取扱説明書をご覧ください。
別売品一覧→219ページ

ここでは例として、次のようなスタンプラベルを作ります。

例
営　業　2　課　　備　品
持　ち　出　し　厳　禁　！　！
(18mm幅テープ使用/小判/長型□/番号:2)

このフォーマットで作ります

試し印刷をする

スタンプ用テープに印刷する前に、スタンプを押したときのイメージを見るため通常のテープに印刷してみることをおすすめします。

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]と押します。

4 △▽◁▷を使いスタンプにして[実行]

5 ◁▷を使い作成にして[実行]

6 △▽◁▷を使い小判にして[実行]

7 △▽を使い長型□にして[実行]

8 ◁▷を使い2にして[実行]

9 「営業2課　備品」と入力・確定して[実行]

10 「持ち出し厳禁！！」と入力・確定して[実行]

11 ◁▷を使い■にして[実行]

12 ◁▷を使い「方向　横書き」にして▽

13 ◁▷を使い「用途　サンプル」にして[実行]

14 ◁▷を使い印刷にして[実行]

15 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要
● "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
- テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。
● テープ出口のまわりにカットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさぐと、テープ詰まりや故障の原因になります。

16 印刷が終わったら、◁▷を使い登録にして[実行]

17 登録名を入力・確定して[実行]を2回
8文字までの保存名をつけられます。

18 ◁▷を使い終了にして[実行]を2回

フレームつきのスタンプを作りたいときは

7で「長型フレームつき」を選ぶと、10の後に使いたいフレームを選ぶことができます。
参照 フレーム一覧→197ページ

文字の形を変えたいときは

9、10で、文字の形を変えられます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体を変える→164ページ

縦書きにするときは

12で、◁▷を使い「方向　縦書き」にします。

スタンプ用テープに印刷する

1 スタンプ用テープカートリッジをセットします。
別売品一覧→219ページ
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]と押します。

4 △▽◁▷を使いスタンプにして[実行]

5 ◁▷を使い呼出しにして[実行]

6 △▽を使い、呼び出したいスタンプを選んで[実行]

7 [実行]を何回か押して「試し印刷をする」の13に進みます。

8 ◁▷を使い「用途　スタンプ」にして[実行]

9 「試し印刷をする」の14〜15を行って、スタンプ用テープに印刷します。

10 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

11 スタンプ用ラベルをスタンプ用ホルダーにセットします。
スタンプ用ホルダーの使いかた
→スタンプホルダーの取扱説明書

単色 バーコードラベルを作る

バーコードを印刷したラベルを作ることができます。

- ●バーコードラベルの作成の流れ
- ●バーコードの仕様→134ページ

バーコードに適したテープ

()内はテープの型番です。

- ●白テープに黒文字(WE)
- ●白テープに青文字(WEB)
- ●黄色テープに黒文字(YW)

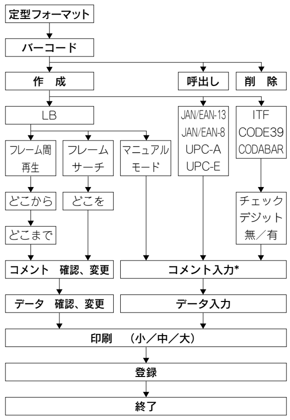
重要 6mm・9mm・カラーテープを使用することはできません。

バーコードのタイプ

(1) EAN系
JAN-13(日本)/EAN-13(ヨーロッパ)
JAN-8(日本)/EAN-8(ヨーロッパ)
UPC-A(アメリカ)
UPC-E(アメリカ)
(2) ITF系
LB(レーザーバーコード)
ITF
(3) CODE39
(4) CODABAR(NW7)

バーコードラベル作成の流れ

バーコードラベルは、次の流れで作成できます。



＊コメントを入力しないときは、そのまま実行を押して次に進んでください。

ここでは例として、次のバーコードラベルを作ります。

例
(18mm幅単色テープ使用/LB/大きさ：中)

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 定型フォーマットと押します。

4 ◇◇◁▷を使いバーコードにして実行

5 ◁▷を使い作成にして実行

6 ◇◇◁▷を使いLB(レーザーバーコード)にして実行

7 ◇◇を使いフレーム間再生にして実行

8 フレーム(始点)の5桁の数字を入力して実行
「どこを？」と表示されたときは、5桁の数字を入力した後、10に進みます。

9 フレーム(終点)の5桁の数字を入力して実行を3回

10 ◁▷を使い中にして実行

11 ◁▷を使い印刷にします。

12 テープ出口がふさがれていないことを確認して実行

重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
- テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

13 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして実行を2回

上部のコメントについて

- 60文字以内でつけてください。
- 上部コメントをつけないときは、コメント入力画面に何も入力せず実行を押します。

ITF・CODE39・CODABARのバーコードラベルを作るときは

6の後、チェックデジットの有無を選びます。

バーコードラベルの長さを変えたいときは

10で、大(長くする)または小(短くする)にします。

印刷したバーコードは、正確に読み取れるか確認してから使用してください

正確に読み取れないときは、次の調整を行ってください。

- 印刷濃度を調整する→188ページ
- 大きく印刷する→10で、大(長くする)にします。

バーコードを連続で印刷すると、きれいに印刷できないことがあります 印刷の状態を確認してください

きれいに印刷できないときは、次の調整を行ってください。

- 印刷濃度を薄くする→188ページ
- 連続印刷をしない

バーコードの仕様

バーコード		チェックデジット※1	印刷される桁数※3	入力する桁数※4	自動的につく桁数		入力文字種※11
						チェックデジット※1	
LB	フレーム間再生	有	14桁	5桁×2「どこから？」「どこまで？」	3桁※8	1桁	数字0～9
	フレームサーチ	有	10桁	5桁「どこを？」	4桁※9	1桁	
	マニュアルモード	有	4～20桁	3～19桁 奇数のみ ※5	—	1桁	
JAN-13 EAN-13		有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8		有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A		有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E		(有)※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF		無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※6	—	—	数字0～9
		有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※7	—	1桁	
CODE39		無	4～22桁	2～20桁	2桁※10	—	数字0～9 アルファベット A～Z 記号「—」「.」「空白」「$」「／」「+」「%」
		有	4～22桁	1～19桁	2桁※10	1桁	
CODABAR		無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号「—」「$」「：」「／」「.」「+」 アルファベット(先頭、末尾のみ)※12 A～D
		有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	

用語説明

※1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。LB・JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの"有"においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の"有"・CODABARの"有"においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。

※2 UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。

※3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数＋自動的につく文字数」となります。

※4 この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。

※5～7 LB・ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。

- ※5 LBのマニュアルモードで、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。レーザーバーコードのフォーマットに従って、もう一度入力し直してください。
- ※6 ITFのチェックデジット"無"で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に"0"を付けて、もう一度入力し直してください。
- ※7 ITFのチェックデジット"有"で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に"0"を付けて、もう一度入力し直してください。

※8 LBのフレーム間再生では、1桁目"2"・12桁目"1"・13桁目"3"が自動的に付きます。

※9 LBのフレームサーチでは、1桁目"2"・2桁目"0"・8桁目"1"・9桁目"3"が自動的に付きます。

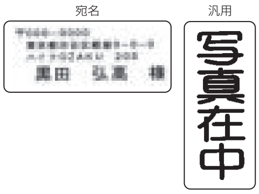
※10 CODE39では、スタートコード(先頭)"＊"・ストップコード(末尾)"＊"が固定されます。

※11 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

※12 CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、"A・B・C・D"のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に"A・B・C・D"以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

型抜きラベルを作る

別売の型抜きテープカートリッジを使って、宛名ラベルなどを作ることができます。
型抜きラベルには「宛名」と「汎用」があります。



ここでは例として、次のような型抜きラベルを作ります。

例
〒123−4567
東京都渋谷区銀座3−7−8
OZAKUビル2F
株式会社大場商事　営業2課
安井一郎様

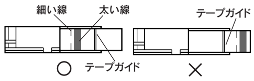
（宛名/番号：2）

このフォーマットで作ります

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 型抜きテープカートリッジをセットします。
別売品一覧→219ページ

型抜きテープカートリッジを本体にセットするときは、テープ裏面のマーカーの位置がテープガイドの外側にならないようにしてください。テープガイドの外側にマーカーがあると、一枚目には何も印刷されません。



2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

4 ⊘⊘⊘⊘を使い**型抜き**にして[実行]

5 ⊘⊘を使い**作成**にして[実行]

6 ⊘⊘を使い**宛名**にして[実行]

7 ⊘⊘を使い**2**にして[実行]

8 「123-4567」と入力・確定して[実行]

9 「東京都渋谷区銀座3-7-8」と入力・確定して[実行]

10 「OZAKUビル2F」と入力・確定して[実行]

11 「株式会社大場商事　営業2課」と入力・確定して[実行]

12 「安井一郎様」と入力・確定して[実行]

13 ⊘⊘を使い「枠付　**なし**」にして[実行]

14 ⊘⊘を使い「方向　**横書き**」にして⊘

15 ⊘⊘を使い「裏書き　**しない**」にして[実行]

16 ⊘⊘を使い**印刷**にします。

17 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
- テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

18 印刷が終わったら、⊘⊘を使い**終了**にして[実行]を2回

文字の形や大きさを変えたいときは
8～12で、文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ、文字のサイズを変える→158ページ

枠付のラベルを作りたいときは
13で、⊘⊘を使い「枠付　**あり**」にします。

縦書きにするときは
14で、⊘⊘を使い「方向　**縦書き**」にします。
参照 縦書き→152ページ

裏書きするときは
15で、⊘⊘を使い「裏書き　**する**」にします。
参照 裏書き→155ページ

ファンシーラベルを作る

別売のファンシーテープカートリッジを使って、かわいいファンシーラベルを作ることができます。
ここでは例として、次のようなファンシーラベルを作ります。

例



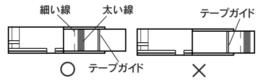
（番号：3）

このフォーマットで作ります

重要 テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 ファンシーテープカートリッジをセットします。
別売品一覧→219ページ

ファンシーテープカートリッジを本体にセットするときは、テープ裏面のマーカーの位置がテープガイドの外側にならないようにしてください。テープガイドの外側にマーカーがあると、一枚目には何も印刷されません。



2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

4 ⊘⊘⊘⊘を使い**ファンシー**にして[実行]

5 ⊘⊘を使い**作成**にして[実行]

6 ⊘⊘を使い**3**にして[実行]

7 「1年2組14番」と入力・確定して[実行]

8 「さかぐち　たえこ」と入力・確定して[実行]

9 ⊘⊘を使い「枠付　**なし**」にして[実行]

10 ⊘⊘を使い「方向　**横書き**」にして⊘

11 ⊘⊘を使い「裏書き　**しない**」にして[実行]

12 ⊘⊘を使い**印刷**にします。

13 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要 "印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
- テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
- テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

14 印刷が終わったら、⊘⊘を使い**終了**にして[実行]を2回

枠付のラベルを作りたいときは
9で、⊘⊘を使い「枠付　**あり**」にします。

縦書きにするときは
10で、⊘⊘を使い「方向　**縦書き**」にします。
参照 縦書き→152ページ

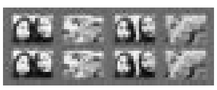
裏書きするときは
11で、⊘⊘を使い「裏書き　**する**」にします。
参照 裏書き→155ページ

文字の形や大きさを変えたいときは
7,8で、文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体(標準・白抜・影付・立体)を変える→164ページ、文字のサイズを変える→158ページ

画像だけのラベルを作る(ビデオ画像ラベル)

ビデオや別売のデジタルカメラの画像を取り込んで、いろいろな枠をつけた画像ラベルを作ることができます。
ここでは例として、次のような画像ラベルを作ります。

例



（36mm幅カラーテープ使用/小(4コマ)/背景色：青/切り抜き：□）

重要
- 使えるテープは18/36/46mm幅カラーテープです。
- 単色テープは使用できません。
- 使えるデジタルカメラは次の機種です。
QV-10/10A/11/30/70/100/200/300/700/770/5000SX/7000SX
（1999年2月現在）
- ビデオやデジタルカメラと接続するためには、市販のケーブルやコードが必要です。
- テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 ビデオやデジタルカメラと本機を接続して、画像の準備をします。
ビデオやデジタルカメラとの接続・画像の準備→100ページ

2 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

3 ◎を押して電源を入れます。

4 [機能] [カラー定型フォーマット]と押します。

5 ⊘⊘⊘⊘を使い**画像ラベル**にして[実行]

6 ⊘⊘⊘⊘を使い**小(4コマ)**にして[実行]

7 画像を取り込みます。
画像の取り込み→105ページ12
取り込む画像が1コマのときは、9に進みます。

8 4コマ分画像の取り込みを繰り返します。

9 画像を確認して[実行]

10 メッセージを確認して[実行]

11 ⊘⊘⊘⊘を使い ■ にして[実行]

12 画像の切り抜きを確認して[実行]

13 ⊘⊘を使い**無地(配色を選択)**にして[実行]

14 ⊘⊘⊘⊘を使い**青**にして[実行]
背景色→カラーカタログ裏面

15 ◁▷を使い印刷にします。

16 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

> 重要 "印刷中"の表示が消えるまで、次のことを守ってください。
> • テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
> • テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

17 印刷が終わったら、◁▷を使い終了にして[実行]を2回

画像表示が見にくいときは

9、12で、◁▷を使い、画像表示の濃淡を調節します。
印刷の濃さは変わりません。

ラベルを登録する・呼び出す・削除する

内蔵のフォーマットから作ったラベルに名前をつけて登録し、呼び出して修正したり印刷したりできます。

●作ったラベルを登録する
●登録したラベルを呼び出す→141ページ
●登録したラベルを削除する→141ページ

> 重要 画像付きラベルを登録すると、ラベル中の画像データは消えてしまいます。ラベルを呼び出して印刷するときは、再度画像データを取り込んでください。

作ったラベルを登録する

1 ラベルを作成し、次の画面を表示させます。

印刷　登録　終了

上の画面は、各ラベルの内容を作り終わった後に表示されます。この画面が表示されないときは、それぞれ次のページをご覧ください。

• ビデオ・オーディオなどのラベル(用途別ラベル)
　カラーラベル→93ページ18
　単色ラベル→99ページ14
　画像付きラベル→107ページ20
• 値札・メニューラベル
　カラーラベル→114ページ13
　単色ラベル→116ページ12
　画像付きラベル→117ページ16
• 通し番号付きラベル→124ページ13
• スタンプ用ラベル→130ページ13
• バーコードラベル→133ページ10
• 型抜きラベル→137ページ15
• ファンシーラベル→138ページ11
• オリジナルラベル
　カラーラベル→144ページ16
　単色ラベル→146ページ14

2 ◁▷を使い登録にして[実行]

3 最大8文字までの登録名を入力して[実行]

登録
実行/取消し
使用量　25%

現在登録されているラベルの量

4 使用量を確認して[実行]

5 ◁▷を使い終了にして[実行]を2回

●ラベルを印刷するときは

5で、◁▷を使い印刷にして[実行]

登録したラベルを呼び出す

> 重要
> • 登録されているラベルを呼び出すと、現在画面に表示されている文字は消えてしまいます。ご注意ください。
> • テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 呼び出したいラベルに合ったテープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 **●カラー/画像付きラベルを呼び出すときは**
[機能][定型フォーマット](カラー定型フォーマット)と押します。

●単色ラベルを呼び出すときは
[定型フォーマット]を押します。

4 △▽◁▷を使い、呼び出したいラベルの種類を選んで[実行]

5 ◁▷を使い呼出しにして[実行]

6 △▽を使い、呼び出したいラベルの登録名を選んで[実行]
ラベルが呼び出されます。

登録したラベルを削除する

1 **●カラー/画像付きラベルを消すときは**
[機能][定型フォーマット](カラー定型フォーマット)と押します。

●単色ラベルを消すときは
[定型フォーマット]を押します。

2 △▽◁▷を使い、消したいラベルの種類を選んで[実行]

3 ◁▷を使い削除にして[実行]

4 △▽を使い、消したいラベルの登録名を選んで[実行]を2回
• 引き続き削除する登録名を選ぶ画面が表示されます。続けて削除するときは、4を繰り返します。
• 他にラベルが登録されていないときは、「作成　呼出し　削除」が表示されます。

5 ラベルの削除を止めるときは[取消し]

自分だけのフォーマットを作る(オリジナルラベル)

レイアウトや文字サイズなどを決めて、オリジナルのラベルを作ることができます。ここで作ったフォーマットを登録しておくと、内蔵のフォーマットと同じように呼び出して使うことができます。
カラーまたは単色が選べます。

●カラーオリジナルラベルを作る
●単色オリジナルラベルを作る→145ページ
●オリジナルラベルのフォーマットを呼び出す→146ページ

> 重要 セットされているテープの幅によって、作ることのできる行数・印字サイズは異なります。

カラー カラーオリジナルラベルを作る

> 重要
> • 使えるテープは18/36/46mm幅カラーテープです。
> • 印刷できるテープの長さは、テープの幅によって異なります。
> 　18mm幅…3.0〜14.8cm
> 　36/46mm幅…3.0〜10.0cm
> • テープをセットするときは、電源を切ってください。

1 カラーテープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [機能][定型フォーマット](カラー定型フォーマット)と押します。

4 △▽◁▷を使いオリジナルラベルにして[実行]

5 △▽◁▷を使い新規作成にして[実行]

ブロック?
←−+→ 1ブロック　↑−+↓ じどう

ブロック数

6 ◁▷を使い、ブロック数を決めます。
1〜3ブロックの間で選べます。

ブロック?
←−+→ 3ブロック　↑−+↓ じどう

パターン名

7 △▽を使い、ブロックのパターンを決めて[実行]
選べるパターンは、ブロック数ごとに次のようになります。

ブロック数	パターン数
1ブロック	じどう：1、こてい：1
2ブロック	じどう：1、こてい：5
3ブロック	じどう：1、こてい：10

パターンが「じどう」のときは、文字数に合わせてブロック長が自動的に変わります。

8 △▽を使い、1ブロック目の行数と印字サイズを選びます。
行数・印字サイズ→210ページ
ブロックが複数あるときは、▷を押して8を繰り返します。

9 すべてのブロックの行数と印字サイズを選んで[実行]

10 **●「テープ長　自動」と表示されているときは**
◁▷を使い、「自動」または「固定」を選びます。

テープ長	操作と内容
自動	入力した文字数に合わせて、自動的にテープ長が決まる
固定	テープ長さを自由に指定する ① ▽を押す →「「テープ長　固定」と表示されているときは」

印刷できるテープの長さは、テープ幅によって異なります。
• 18mm幅…3.0〜14.8cm
• 36/46mm幅…3.0〜10.0cm

●「テープ長　固定」と表示されているときは
① ◁▷を使い、テープの長さを指定します。
テープの長さは、テープ幅により次の範囲で自由に指定できます。
• 18mm幅…3.0〜14.8cm
• 36/46mm幅…3.0〜10.0cm

テープ長　固定
テープながさ　←−+→ 14.8cm VHSせ

指定した長さに最適なラベルの種類

11 [実行]を押します。

12 項目に文字を入力・確定して[実行]
ブロック・項目が複数あるときは、12を繰り返します。

13 ⓪⓪を使い「方向　横書き」(または縦書き)にして[実行]

14 ⓪⓪を使い、無地(配色を選択)または色柄(模様を選択)を選んで[実行]

15 ⓪⓪を使い、配色(または模様)の種類を選んで[実行]
配色→カラーカタログ裏面
模様→カラーカタログ裏面

16 ⓪⓪⓪⓪を使い、配色を選んで[実行]

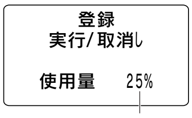
17 ⓪⓪を使い印刷にします。

18 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要
"印刷中"の表示が消えるまで、次のことを守ってください。
・テープはテープ出口を4回(ラベルにより5〜8回)往復します。テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

19 印刷が終わったら、⓪⓪を使い登録にして[実行]

20 登録名を入力・確定して[実行]
登録名は8文字以内でつけることができます。



現在登録されているラベルの量

21 使用量を確認して[実行]

22 ⓪⓪を使い終了にして[実行]を2回

文字の形や大きさを変えたいときは
12で、文字の大きさや形を変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体を変える→164ページ、文字割付を変える→154ページ、文字のサイズを変える→158ページ

文字を部分的に目立つような配色にしたいときは
12で、項目を選んで、部分的に目立つ配色にすることができます。
① 目立たせたい項目の入力画面で、[機能][文字種]を押します。
② ⓪⓪を使い「強調　する」にして[実行]

縦書きにするときは
13で、⓪⓪を使い「方向　縦書き」にします。
参照 縦書き→152ページ

ラベルの長さが短い(約24mm以下)の場合、余白がカットされないことがあります
印刷終了後にハサミなどで余白をカットしてください。

改行マーク・ブロックマークは
オリジナルラベルの文字入力では入れられません。

単色オリジナルラベルを作る

重要
・使えるテープは、9mm〜46mm幅単色テープです。
・6mm幅単色テープは使用できません。
・テープをセットするときは、電源を切ってください。

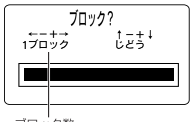
1 単色テープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 [定型フォーマット]を押します。

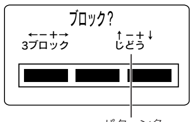
4 ⓪⓪⓪⓪を使いオリジナルラベルにして[実行]

5 ⓪⓪⓪⓪を使い新規作成にして[実行]



ブロック数

6 ⓪⓪を使い、ブロック数を決めます。



パターン名

7 ⓪⓪を使い、ブロックのパターンを決めて[実行]
選べるパターンは、ブロック数ごとに次のようになります。

ブロック数	パターン数
1ブロック	じどう：1、こてい：1
2ブロック	じどう：1、こてい：5
3ブロック	じどう：1、こてい：10
4ブロック	じどう：1、こてい：1 46mmテープは選べない
5ブロック	じどう：1、こてい：1 36/46mmテープは選べない

パターンが「じどう」のときは、文字数に合わせて自動的にブロック長が変わります。

8 ⓪⓪を使い、1ブロック目の行数と印字サイズを選びます。
行数・印字サイズ→211ページ
ブロックが複数あるときは、⓪を押して8を繰り返します。

9 すべてのブロックの行数と印字サイズを選んで[実行]

10 ●「テープ長　自動」と表示されているときは
⓪⓪を使い、「自動」または「固定」を選びます。

テープ長	操作と内容
自動	入力した文字数に合わせて、自動的にテープ長が決まる
固定	テープ長さを3.0〜30.0cmの間で自由に指定する ① ⓪を押す →146ページ「「テープ長　固定」と表示されているときは」

●「テープ長　固定」と表示されているときは
① ⓪⓪を使い、テープの長さを指定します。
テープの長さは、テープ幅により次の範囲で自由に指定できます。
3.0〜30.0cmの間で自由に指定できます。



指定した長さに最適なラベルの種類

11 [実行]を押します。

12 項目に文字を入力・確定して[実行]
ブロック・項目が複数あるときは、12を繰り返します。

13 ⓪⓪を使い「方向　横書き」(または縦書き)」にして⓪

14 ⓪⓪を使い「裏書き　しない」(またはする)」にして[実行]

15 ⓪⓪を使い印刷にします。

16 テープ出口がふさがれていないことを確認して[実行]

重要
"印刷中"の表示が消えるまで次のことを守ってください。
・テープがカットされるまで、テープにさわらないでください。
・テープカートリッジ収納部のカバーを開けないでください。

17 ラベルの内容とフォーマットを登録します。
ラベルの内容とフォーマットを登録する→144ページ19〜22

テープ幅とブロック数
6で、選べるブロック数はテープ幅によって異なります。36mm幅テープでは4ブロックまで、46mm幅テープでは3ブロックまで、その他のテープは5ブロックまで選べます。

文字の形や大きさを変えたいときは
12で、文字の形や大きさを変えることができます。
参照 書体を変える→161ページ、文字体を変える→164ページ、文字割付を変える→154ページ、文字修飾を変える→162ページ、文字サイズを変える→158ページ

オリジナルラベルのフォーマットを呼び出す

登録したオリジナルラベルのフォーマットを呼び出して、内蔵フォーマットと同じようにラベルを作ります。

重要
・テープをセットするときは、電源を切ってください。
・オリジナルラベルを呼び出すときは、作成したときと同じ幅のテープをセットしてください。異なる幅のテープを使うと呼び出すことができなかったり、ラベルの長さや文字数によっては登録した通りに印刷されないことがあります。

1 フォーマットに合わせてテープをセットします。
テープのセット→10ページ

2 ◎を押して電源を入れます。

3 ●カラーオリジナルラベルを呼び出すときは
[機能][カラー定型フォーマット]と押します。
●単色オリジナルラベルを呼び出すときは
[定型フォーマット]を押します。

4 ⓪⓪⓪⓪を使いオリジナルラベルにして[実行]

5 ⓪⓪⓪⓪を使い流用作成にして[実行]

6 ⓪⓪を使い、呼び出したいフォーマットの登録名を選んで[実行]

7 ⓪⓪を使い「フォーマット変更　しない」を選んで[実行]

8 フォーマットに内容を入力して、ラベルを作成します。
カラーオリジナルラベルを作る→143ページ12〜18、単色オリジナルラベルを作る→146ページ12〜16

9 オリジナルラベルを終わらせたいときは、⓪⓪を使い終了にして[実行]を2回

フォーマットとラベルの内容をいっしょに呼び出す

登録したフォーマットを文字などラベルの内容が入った状態で呼び出すことができます。登録したラベルを手直しして、新しいラベルを作るときに便利です。

1 「オリジナルラベルのフォーマットを呼び出す」の5で、⓪⓪⓪⓪を使い呼出しにして[実行]

2 ⓪⓪を使い、呼び出したいフォーマットの登録名を選んで[実行]

3 ⓪⓪を使い「フォーマット変更　しない」を選んで[実行]
フォーマットとラベルの内容が画面に呼び出されます。

フォーマットを変更する

1 「オリジナルラベルのフォーマットを呼び出す」の7で、⓪⓪を使い「フォーマット変更　する」にして[実行]

2 新しくフォーマットを作るときと同様にフォーマットを修正し登録します。

重要
ブロック数・行数を変更することはできません。

Memo